

第12号

編集・発行

社会福祉法人 福陽会

第3サンシャインビル

〒190-0182

東京都西多摩郡日の出町平井

2368-5

☎042-597-5515

謹賀新年



新年の挨拶

施設長 篠崎 哲一



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、ご利用者様、ご家族様ならびに地域の皆様から温かいご支援とご協力を賜わり、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルスが流行してから4年が過ぎました。5類になり以前と状況は異なりますが、新型コロナウイルスに限らずインフルエンザ等、これからも感染症とは付き合っていかなければなりません。感染対応緩和についても検討しつつ、引き続き感染が施設内で蔓延しない体制づくりに尽力していきます。

さて、2024年は3年に一度行われる介護保険法の改定の年になります。改定では、介護を取り巻く環境の変化に対応するという背景があり、その時代の経済情勢を考慮し、適切な報酬や加算が決められます。これにより、介護のサービスの質の向上が期待されています。今回の改定では介護報酬+1.59%と発表がありました。プラスになった背景には昨今の物価高騰も含まれているようです。物価の高騰は、当施設でも例外ではなく、食費、光熱費が上がってきており、無駄を無くすよう、職員一同努力しております。様々な問題がありますが、翌年2025年には、国民の5人に1人が後期高齢者という超高齢化社会を迎えます。また、2040年には、少子化による急激な人口減少と高齢者人口がピークに達すると言われています(2040年問題)。それにより、労働力人口が減少し、更に人手不足になる事が懸念されています。当施設としましても、2024年度の介護保険改定や時代の流れに柔軟に対応しつつ、働くスタッフの働きやすさにも注力していきます。安定した運営、サービスの質の向上を目指し、ご利用者様、ご家族様に安心して過ごしていただけるよう努めて参ります。

今年は新年早々石川県で大地震、羽田空港での事故がありました。犠牲となられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地域の皆様の安全、一日でも早い復興を心よりお祈りいたします。

被害の大きさに驚きましたが、いつ何が起るかわかりません。当たり前のように新年を迎えましたが、当たり前は無いのだと思います。感謝は身近な日常にこそあり、感謝できるかできないかは自分次第です。常に「感謝」の気持ち忘れずに過ごしていきたいと思えます。

本年もよろしくお願ひ致します。



新年式典

謹賀新年

2024年1月2日に新年式典を行いました。今年度も会場を5カ所に分けて行いました。副理事長にお越しいただき、新年の挨拶、御屠蘇で乾杯をしました。また、今年一年も元気に過ごせるようお願いを込めて、歌が得意なご利用者様より歌、元応援団のご利用者様にはエールを送っていただきました。



一年の景気づけにエールを送って
いただきました！

フレフレ



皆様の前で歌を披露して下さい
ました。とってもお上手なんです！



お囃子

2024年1月2日にお囃子に来ていただきました。コロナ禍になってから中止しており、久しぶりの開催となりました。各階にお囃子の方に回っていただき、厄払いを行い、幸福を招きました！ご利用者様も手拍子して喜ばれていました。今年も良い一年になりそうです！



福陽大社完成

当施設の1階に福陽会にちなんだ「福陽大社」が完成しました！ここでお参りすればご利益間違いなし！この福陽大社は職員が一生懸命作成した当施設自慢の大社です。この大社、鳥居、御賽銭箱、門松はなんと、「段ボール」で作られています。ご面会にお越しの際は是非お参りして下さい。



そうだ！福陽大社へ行こう！



お待ちしております！

初詣の様子



今年は当施設の「福陽大社」と感染対応に留意した上で近隣の「八幡神社」へ初詣に行きました。ご利用者様達も福陽大社に健康と御多幸をお祈りされていました。



食費について

昨今の物価の高騰により、当施設でも食事の質が落ちないように、献立を見直すなど、施設としても努力を重ねて参りましたが、これ以上の見直しは、ご利用者様への食事に大きな影響が出てしまう恐れがあります。施設としても苦肉の策ではありますが、食費の値上げをさせていただきたく、ご理解、ご協力をお願い致します。詳細は、1月の請求書と共に、別紙を同封致しますのでご参照下さい。